

## 研究活動報告 (アルファベット順)

2015年(1月1日から12月31日)における専任教員の研究活動歴である。ここに掲載されているものは、大阪女学院大学・短期大学研究活動委員会の依頼に応じて、各専任教員が自己申請したものに限定されていることを付記する。研究活動歴は以下のように分類される。

氏名、(専門領域)、I.著訳書、II.学術論文、III.その他の著作(研究ノート、ニュースレター、報告書、雑誌、新聞等)、IV.学会発表、V.その他の発表(シンポジウム、講演、放送等)、VI.学会および公的な機関の委員、VII.科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

青木 慶(あおき・けい) [マーケティング, イノベーション]

### II. 学術論文

- (1) 「企業と消費者の価値共創に関する研究」, 『神戸大学大学院経営学研究科博士課程論文』, 2015年3月, 単著
- (2) 「消費者との共創コミュニティにおける製品開発に関する研究-Quirky社 事例研究-」, 『碩学舎 ビジネス・ジャーナル』 vol. 35, 2015年7月, 単著
- (3) 「共創活動から生まれる第二のキャリア-クックパッド料理教室事例研究-」, 『日本マーケティング学会 カンファレンス・プロシーディングス』 vol. 4, 2015年11月, 単著

### IV. 学会発表

- (1) “The relationship between co-creation activities and “parallel careers””, The 13th Open and User Innovation Society Meeting, 2015年7月13日, CATÓLICA LISBON School of Business and Economics
- (2) 「共創活動から生まれる第二のキャリア-クックパッド料理教室事例研究-」, 日本マーケティング学会, 早稲田大学, 2015年11月29日

Cornwell, Steve (コーンウェル・スティーブ) [TESOL and Education]

### IV. 学会発表

- (1) Five Minute Activities for Motivation, Bangladesh English Language Teaching Association, Cox's Bazaar Sept. 16, 2015
- (2) Designing Language Courses, Bangladesh English Language Teaching Association, Cox's Bazaar Sept. 16, 2015
- (3) Five Minute Activities for Motivation, Bangladesh English Language Teaching Association, Dhaka, Sept. 19, 2015

### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) JALT, Board of Directors, Director of Program, continuing from last year-1/1/2014 through 12/31/2014 and into present
- (2) IAFOR (International Academic Forum), Advisory Board, Local Conference Chair, continuing from last year-1/1/2014 through 12/31/2014 and into present
- (3) JALT Journal, Editorial Advisory Board member, continuing from last year-1/1/2014 through 12/31/2014 and into present
- (4) The Language Teacher, Editorial Advisory Board member, continuing from last year-1/1/2014 through 12/31/2014 and into present

平野 真理子(ひらの・まりこ)〔アメリカ文学〕

II. 学術論文

- (1) “Making and Using ‘Chips or Chips?’ : A Discussion of Practical Uses of Our Textbook.” *Kobe Kaisei Review*, vol. 53, March, 2015, joint work

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 『『カマアイナ』化するアイデンティティー Jessica K. Saikiの“Hapa Hapa / Half and Half”における一考察』、『神戸英米論叢』第28号, 2015年2月, 単著

IV. 学会発表

- (1) 「文学作品としてのフラ・カヒコ」, アジア系アメリカ文学研究会第119回例会, 神戸大学, 2015年7月11日

Johnston, Scott (ジョンストン・スコット)〔Internationalization of campuses and courses〕

IV. 学会発表

- (1) “Japan-UAE Intercultural Collaboration using SNS Tools. SEITAR-Japan.” Oberlin University, Tokyo, 2015 September 19

V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Intercultural Communication and You.” (Invited Speech). 12<sup>th</sup> Wakayama Prefecture High School English Speech Contest; Wakayama City, Wakayama, 2015 November 7

香川 孝三(かがわ・こうぞう)〔労働法・アジア法〕

I. 著訳書

- (1) 「ベトナムのジェンダー」川島典子・三宅えり子『アジアのなかのジェンダー』(第2版), ミネルヴァ書房, 2015年3月, 241-259頁
- (2) 「児童労働」初瀬龍平・松田哲・戸田真紀子編『国際関係のなかの子どもたち』晃洋書房, 2015年12月, 27-40頁

II. 学術論文

- (1) 「児童労働撲滅を目指す国際的動向」季刊労働法249号, 2015年6月, 2-13頁
- (2) 「ベトナムにおけるジェンダーの視点からみる家族制度と労働の形態」日本ジェンダー研究18号, 2015年9月, 29-42頁
- (3) 「ASEAN経済統合に向けた日系多国籍企業労使の課題」JCM310号, 2015年10月, 26-29頁
- (4) 「ASEAN経済統合が各国労働法制に与える影響」Business Labour Trend 489号, 2015年12月, 4-11頁
- (5) 「ミャンマーの最低賃金制度」季刊労働法251号, 2015年12月, 130-139頁

III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) Case Comment, Yachio Transportation Co. Ltd. V. Kono Taro, Supreme Court Judgment, 6 June, 2013, *International Labour Law Reports*, vol. 33, January 2015, pp. 173-178
- (2) 巻頭言「アジア労働法学会第5回東京大会の開催」労働法律旬報1833号, 2015年2月, 4-5頁
- (3) 解説「休職明けの仕事」Leadership Development Note 1192号, 2015年3月, 32-33頁
- (4) エッセイ「第46回労働リーダーシップコースを終えて」JCM309号, 2015年春号, 31頁
- (5) エッセイ「大航海時代の世界と日本」京都文化創生機構, 2015年10月, 8頁
- (6) エッセイ「アセアン経済統合を進める意思決定方式」大阪女学院国際共生研究所通信9号, 2015年10月, 2頁

IV. 学会発表

- (1) 「ベトナムにおける婚姻の性中立化をめぐって」日本ジェンダー学会, 奈良女子大学, 2015年9月19日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) テレビ出演「売られる花嫁ビジネスの実態」読売テレビ, 2015年5月8日
- (2) テレビ出演「ミャンマーのロヒンギア問題」読売テレビ, 2015年5月21日
- (3) 講演「アセアン経済統合と日本企業の労使関係」金属労協, 2015年7月9日
- (4) 研究報告「人間の安全保障と職場の労働安全」大阪女学院国際共生研究所, 2015年7月29日
- (5) 模擬授業「国際関係のなかの子ども」大阪府立枚方高等学校, 2015年10月22日
- (6) 模擬授業「国際関係のなかの子ども」大阪府立旭高等学校, 2015年10月29日
- (7) 講演「CSRをめぐる労働裁判例」全国社会保険労務士連合会, 2015年11月13日
- (8) 講演「アセアン経済統合と労働問題」産業関係研究所, 2015年11月14日
- (9) 講演「ミャンマーへの法整備支援」神戸大学大学院国際協力研究科, 2015年11月20日
- (10) 講演「アセアン経済統合と環太平洋地域」京都外国語大学, 2015年12月15日
- (11) 模擬授業「国際関係のなかの子ども」兵庫県立宝塚西高等学校, 2015年12月15日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本ジェンダー学会 副代表
- (2) 日本労務学会名誉会員
- (3) アジア法学会 理事
- (4) 兵庫県労働運動史編纂委員会 委員長
- (5) JCM労働リーダーシップコース 校長
- (6) 一般社団法人産業関係研究所 理事・主任研究員
- (7) 国際京都学協会 理事
- (8) 竹文化振興協会 理事
- (9) 京都文化創成機構 理事
- (10) Asian Society of Labour Law, Member of Executive Board

#### VII. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「東アジア諸国における非典型雇用の公的・実態分析」科研費基盤研究(B) 研究分担者, 研究代表・藤川久昭青山学院大学教授

加藤 映子(かとう・えいこ)〔言語習得, ITを活用した教育〕

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 第4回教育研究セミナー「ICUのリベラルアーツ教育」報告, 『大阪女学院教育研究センター』第9号, p2, 2015年12月8日, 大阪女学院教育研究センター

#### IV. 学会発表

- (1) “Language Learning: Then and Now,” The Asian Conference on Education(ACE) 2015, Keynote, 2015年10月22日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 四条畷学園高校, 2015年2月2日
- (2) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 和歌山県立日高高校, 2015年3月5日
- (3) 「大阪女学院大学・短期大学の英語教育」, キリスト教学校同盟関西地区総会, 於: 大阪女学院ホールチャペル, 2015年5月16日
- (4) 「大阪女学院大学・短期大学の教育」大阪女学院同窓会東京支部会講演, 於: 東京三井クラブ, 2015年6月6日
- (5) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 大阪府立夕陽ヶ丘高校, 2015年6月11日

- (6) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 夢ナビ講義ライブ, FROMPAGE, 於: インテックス大阪, 2015年6月20日
- (7) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 大阪府立布施高校, 2015年6月25日
- (8) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 兵庫県立西宮北高校, 2015年7月9日
- (9) 高大接続フォーラム「大学入試改革の先にあるもの ～高校教育の本質を考える～【関西版】」, 『学生の成長を支える仕組みとは－入試制度×カリキュラム×英語力の伸長×就職率』, AP大阪梅田茶屋町 H+I+Jルーム, 於: 2015年7月18日
- (10) 講演「英語による絵本の読み聞かせ」, 於: 岡山県国際交流センター, 2015年7月19日
- (11) ADE APAC Institute One in Three “ADE Collaboration”, 於: シンガポールPan Pacific Hotel, 2015年8月5日
- (12) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 和歌山県立橋本高校, 2015年9月4日
- (13) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 兵庫県立井川谷高校, 2015年9月28日
- (14) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 大阪市立東高校, 2015年10月5日
- (15) 「The Very Hungry Caterpillar はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」, 高大連携授業, 於: 兵庫県立宝塚北高校, 2015年10月29日
- (16) 「海外で活躍する職業」, 進路ガイダンス, 於: 大阪府立堺東高校2015年11月26日

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) コンピュータ利用協議会 国際交流委員会委員
- (2) ADE (Apple Distinguished Educator)
- (3) 私立大学連盟 学長会議 幹事
- (4) ADE APAC Institute 2015 board member
- (5) ADE APAC board member

黒澤 満(くろさわ・みつる)〔国際法, 国際関係論〕

### I. 著訳書

- (1) 『ひろしまレポート:核軍縮・核不拡散・核セキュリティを巡る2014年の動向』広島県/日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター, 180頁, 2015年3月, 共著
- (2) 『軍縮辞典』日本軍縮学会編, 信山社, 531頁, 2015年9月, 共著(辞典編纂委員会編纂委員長, 23項目執筆)

### II. 学術論文

- (1) “Humanitarian Approach to Nuclear Abolition,” *Osaka University Law Review*, No. 62, February 2015, pp.13-28. 単著
- (2) 「二〇一五年NPT再検討会議と核軍縮」『阪大法学』第65巻第3号, 2015年9月30日, 151-176頁, 単著

### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「軍縮・平和」『imidase Library (2015年版)』集英社, 2015年2月
- (2) 「被爆70年NPT会議の展望:人間の安全保障広がるか」『毎日新聞』4月21日
- (3) 「NPT決裂:日本、つなぐ役割果たせ」『朝日新聞』5月24日
- (4) 「NPT会議決裂:成果ゼロではない」『毎日新聞』5月24日
- (5) 「基調講演:NPT会議、道は示された」『中国新聞』7月27日

- (6) 「被爆70年核廃絶への道筋をどう描くか：非人道性を軸に議論を」『公明新聞』8月1日
- (7) 「核軍縮に関する国際情勢(22)：2015年NPT再検討会議」『平和の風』第22号, 7-15頁, 2015年8月
- (8) 「被爆70年の広島から：人道的アプローチ、徐々に光」『朝日新聞』8月22日
- (9) 「国連軍縮会議閉幕：核廃絶人道頼み厳しく」『読売新聞』8月29日
- (10) 「世界各地にある非核兵器地帯およびモンゴル国非核兵器地位について教えて下さい」, 日本平和学会『安保法制100の論点』2015年9月
- (11) 「2015年NPT再検討会議と核軍縮をめぐる議論」『非核の政府を求める会ニュース』2015年9月15日号
- (12) 「安保100の論点：平和学会HPに」『毎日新聞』9月18日夕刊
- (13) 「核回廊を歩く：日本編」『毎日新聞』10月6日
- (14) 「軍縮語る言葉凝縮：日本発の本格的辞典刊行」『朝日新聞』10月17日夕刊
- (15) 「核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議の意義・現状・展望」『国連フォーラム』2015年10月
- (16) 「人間性原点に核軍縮を：パグウォッシュ長崎会議」『沖縄タイムズ』11月6日
- (17) 「日本軍縮学会が辞典出版：核問題の知識の泉」『中国新聞』11月10日
- (18) 「核兵器のない世界に向けての展望と課題：日本からの視点」『軍縮研究』第8巻, 2015年11月
- (19) 「被爆70年、核軍縮の動向を総括して」『聖教新聞』12月18日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「核軍縮」, 青少年のための核軍縮参加型セミナー『核兵器のない世界のつくりかた』, ひろしま国際センター交流ホール, 広島, 2月7日
- (2) 「日本の核軍縮・核不拡散政策」外務省引原軍縮不拡散・科学部長主催有識者懇談会, 東京, 外務省, 2月19日
- (3) 「2015年NPT再検討会議の展望」, IPPNW大阪府支部記念講演会, 大阪, 4月18日
- (4) 「核軍縮の現状：NPT再検討会議」, 同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科, 京都, 6月2日
- (5) 「核拡散防止の歴史的展開」, 同志社大学大学院グローバルスタディーズ研究科, 京都, 6月9日
- (6) “Nuclear Weapons Convention,” UNITAR Training Programme on Nuclear Disarmament and Non-Proliferation for South East Asia, Hiroshima, 10 June.
- (7) 「核軍縮の最前線から：現状と展望」国連ユニタール・中国新聞社主催公開セッション, 広島, 広島国際会議場
- (8) 「NPT再検討会議の成果」外務省引原軍縮不拡散・科学部長主催有識者懇談会, 東京, 外務省, 6月12日
- (9) 「核兵器と安全保障－2015年NPT再検討会議の議論を中心に－」, 大阪女学院大学国際共生研究所, 平和・人権研究会, 6月24日
- (10) 「NPT再検討会議後の核兵器の現状と課題」基調講演・パネリスト, 広島市立大学広島平和研究所国際シンポジウム『被爆70年－核兵器廃絶と被爆体験の継承を考える』, 広島, 広島国際会議場, 7月20日
- (11) 「2015年NPT再検討会議と核軍縮」, 非核の政府を求める会, 東京, 7月23日
- (12) “Towards the Realization of a World Free of Nuclear Weapons following the 2015 NPT Review Conference,” United Nations Conference on Disarmament Issues, Hiroshima, August 26-28.
- (13) 「2015年NPT再検討会議」, 平成27年度軍縮・不拡散問題講座, 日本国際問題研究所, 東京, 9月1日
- (14) 「核軍縮の展望：NPT再検討会議の失敗を経て」, 朝日新聞社大阪本社勉強会, 大阪, 9月11日
- (15) 「国際安全保障から人間の安全保障へ」, 大阪女学院大学Home Coming Day, 大阪, 9月26日
- (16) 「核軍縮の展望：NPT再検討会議と国連総会の議論を中心に」, 朝日新聞社東京本社勉強会,

東京, 11月9日

- (17) 「核兵器の非人道性」, 核兵器不拡散条約(NPT) 第6条に基づく「効果的措置」及び核兵器の非人道性に関する核軍縮政策研究会, 日本国際問題研究所, 東京, 11月27日

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 日本軍縮学会 理事・監事
- (2) 日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター 客員研究員
- (3) Editorial Board of the Nonproliferation Review, Member
- (4) 核戦争防止医師会議 (IPPNW) 大阪支部 特別顧問
- (5) 国立大学法人長崎大学核兵器廃絶研究センター 顧問
- (6) 独立行政法人日本原子力開発機構核不拡散科学技術フォーラム 副委員長
- (7) ひろしまレポート作成事業 委員
- (8) 広島平和祈念記念館展示説明文執筆会議 委員
- (9) 日本軍縮学会『軍縮辞典』編纂委員会 委員長
- (10) 2015年NPT運用検討会議日本政府代表団 顧問

**Lyddon, Paul A.** (リダン・ポール) [Second Language Acquisition and Teaching]

**II. 学術論文**

- (1) “Teaching grammatical voice to computer science majors: The case of less proficient English learners.” *English for Specific Purposes*, vol. 4, Jan. 2016, joint work

**III. その他の著作 (研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) “The flip side of flipped language teaching.” *Critical CALL – Proceedings of the 2015 EUROCALL Conference, Padova, Italy*, Dec. 2015, individual work
- (2) “JALT forum: Reimagining contemporary EFL curricula.” *JALT2014 Conference Proceedings*, Sept. 2015, joint work

**IV. 学会発表**

- (1) “The flip side of flipped language teaching.” EUROCALL, Padova, Italy, Aug. 27, 2015.
- (2) “Rendaku and homophony.” The Phonological Society of Japan, Osaka, Aug. 20, 2015.

**馬淵 仁**(まぶち・ひとし) [異文化理解論, 多文化共生論, 教育社会学]

**I. 著訳書**

- (1) 「おわりに」(伊井義人編著)『多様性を活かす教育を考える七つのヒント オーストラリア・カナダ・イギリス・シンガポールの教育事例から』共同文化社 2015年9月 単著

**II. 学術論文**

- (1) 「シンポジウム: グローバル化時代における多文化教育を問う 豪・加・米・英の現況から示唆されるもの」『オセアニア教育研究』第21号 2015年12月 単著

**IV. 学会発表**

- (1) 「オーストラリアの各州の教育の今とこれから」課題研究 企画・司会 オセアニア教育学会, 於: 東北大学 2015年12月20日

**V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 「教師のエンパワメントを考えるー外国につながる子どもたちを含めた教室・学校づくりのためにー」公開シンポジウム: コメンテーター 異文化間教育学会, 於: 千葉大学 2015年6月7日

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) オセアニア教育学会 会長 (2015年度)
- (2) 異文化間教育学会 理事 (2015年度)

- (3) 日本国際文化学会 理事 (2015年度)
- (4) オーストラリア学会 理事 (2015年度)
- (5) 異文化間教育学会 体系化編集委員 (2015年度)

前田 美子(まえだ・みつこ)〔比較・国際教育, 開発教育, 国際協力, 理科教育, 教育方法, ファシリテーション研究〕

#### I. 著訳書

- (1) “Family and Community Engagement with Education.” In Tristan McCowan & Elaine Unterhalter (Eds.), *Education and International Development: An Introduction*, Bloomsbury, (pp. 169-180), February, 2015, individual work.

#### II. 学術論文

- (1) 「インドネシアにおける科学的方法についての理解：新カリキュラムと授業研究実践の分析から」, 『国際教育協力研究』, 1-8頁, 2015年3月, 共著

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「研究成果報告書：教員の不正行為に関する研究－カンボジアを事例として－」, 『科学研究費助成事業データベース』, 2015年2月25日公開, 単著
- (2) 「研究活動報告」, 『大阪女学院大学国際共生研究所通信』, 第9号, 2015年10月, 単著

#### IV. 学会発表

- (1) “Intercultural experiences of Japanese volunteer teachers of mathematics in southern African schools”, 23rd Annual Conference of the Southern African Association for Research in Mathematics, Science and Technology Education, Pedagogical University and Eduardo University, Maputo, Mozambique, January 14, 2015.
- (2) “How successful are the borrowing and lending scientific inquiry activities in developing countries?”, Comparative Education Society of Hong Kong Annual Conference 2015, University of Hong Kong, China, February 6, 2015.
- (3) “Intercultural experience of Japanese overseas volunteer teachers”, Comparative Education Society of Hong Kong Annual Conference 2015, University of Hong Kong, China, February 6, 2015.
- (4) 「インドネシアにおける問題解決型授業：教員は科学的方法をどう理解しているのか?」, インドネシア理数科教育研究会, 於：鳴門教育大学, 2015年2月21日
- (5) “Scientific inquiry activities in the context of development cooperation”, The Comparative International Society, 59th Conference, Washington Hilton, USA, March 11, 2015.
- (6) “A study on trajectory of Japanese incumbent teachers’ intercultural sensitivity as volunteers in developing countries”, The Comparative International Society, 59th Conference, Washington Hilton, USA, March 12, 2015.
- (7) “Institutionalization of corruption in education: examining the experiences of Cambodian teachers”, The 59th World Assembly of International Council on Education for Teaching, Naruto University of Education, June 21, 2015.
- (8) “A study on intercultural experience of Japanese overseas volunteer teachers”, Multiple presenters symposium (Teacher Education Research, Politics and Policy-From Japanese Perspectives). The 59th World Assembly of International Council on Education for Teaching, Naruto University of Education, June 21, 2015.
- (9) 「開発プロジェクトの現地スタッフに対する給与補填問題」, 第45回大阪女学院大学平和・人権研究会, 於：大阪女学院大学, 2015年11月4日
- (10) “Adoption of lesson study in developing countries: an analysis based on Roger’s diffusion of

innovations theory”, World Association for Lesson Studies, International Conference 2015, Khon Kaen University, Thailand, November 26, 2015.

**V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 講師：「国際理解教育授業研究」，於：大阪市立関目東小学校，2015年1月22日
- (2) 講師：「国際協力の実践から研究へ」，青年海外協力隊兵庫県OB会3月定例会，於：JICA関西，2015年3月12日
- (3) 企画：「『世界一大きな授業』のファシリテーションから学ぶ」，大阪女学院大学国際共生研究所ファシリテーション・メディエーション研究会，於：大阪女学院大学，2015年5月27日
- (4) 企画・ファシリテーション：「ビジネスを通じて社会貢献」，大阪女学院大学国際共生研究所ファシリテーション・メディエーション研究会，於：大阪女学院大学，2015年11月19日

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 鳴門教育大学教員教育国際協力センター共同研究員
- (2) Editorial board member of the International Journal of Comparative Education and Development (IJCED)

**VII. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究**

- (1) 「青年海外協力隊に参加した現職教員の意識変容に関する研究」，科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究，研究分担者，平成24～26年度
- (2) 「教育イノベーションとしての『授業研究』の普及に関する事例研究」，科学研究費補助金 基盤研究B，研究分担者，平成25～26年度

**中垣 芳隆**(なかがき・よしたか) [学校経営]

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 府立北野高等学校 文部科学省Super Global High School運営指導委員 2014～2019

**中井 弘一**(なかい・ひろかず) [英語授業実践学]

**III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) 「効果的な英語プレゼンテーションを行う指導に当たって」，『大阪女学院大学教員養成センター機関誌』Vol. 5, 2015年3月，単著
- (2) 「アクティブ・ラーニングは思考を活性化する救世主か!？」，大阪女学院大学教員養成センター，Newsletter第21号，2015年4月10日
- (3) 「グローバル化の対応に本当に必要なこと」，兵庫県教育委員会『兵庫教育』，2015年12月1日

**V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 「効果的なプレゼンテーション」兵庫県立三木高等学校 2015年6月16日
- (2) 「効果的なプレゼンテーション」福井県立若狭高等学校 2015年10月19日
- (3) 「リスニング力育成の学習方法」福井県立若狭高等学校 2015年12月16日

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 関西英語教育学会 評議員
- (2) 大阪教育大学附属平野校舎 学校協議委員 2015～

**中西 美和**(なかにし・みわ) [臨床心理学]

**III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) 「ゲシュタルト療法のスーパーヴィジョンを受けて－私が他ならぬ私になる経験」，『臨床ゲシュタルト療法研究』，創刊号，pp. 77-84. 2015年11月27日発行，単著

**V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 「ゲシュタルト療法ワークショップin大阪」，於：大阪女学院大学，2015年2月21日，セラピスト



- (2) 「カウンセリング概論」, 関西いのちの電話 第52期電話相談ボランティア養成講座, 於: 関西いのちの電話(博愛社5階), 2015年5月18日, 講師
- (3) 「ヒューマン・コミュニケーション・ラボラトリー2015」, HCL研究会, 於: 関西学院千刈キャンパス, 2015年8月27日~8月30日, トレーナー
- (4) 「電話相談に役立つ寄り添い方・自己への気づき-自分と語らうひととき-」, 親と子のこころの電話, 於: 京都市生涯学習総合センター(京都アスニー), 2015年10月21日
- (5) 「エンプティ・チェア技法による体験」, 日本臨床ゲシュタルト療法学会, 於: 追手門学院大学大阪城スクエア, 2015年11月28日, 講師
- (6) 「ある摂食の問題を抱えた女性との面接経過」, 日本臨床ゲシュタルト療法学会, 於: 追手門学院大学大阪城スクエア, 2015年11月29日, 司会

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本臨床ゲシュタルト療法学会, 常任理事, 2013年~2015年

西井 正弘(にしい・まさひろ) [国際法]

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「情けは人の為ならず-日本・トルコ関係の125年」, 『グローブ』第81号(2015年春号), 2015年4月, 8-9頁。
- (2) 「地球温暖化問題(Global Warming Issues)」, 大阪女学院大学国際共生研究所通信, 第9号, 2015年10月31日, 3頁。

#### IV. 学会発表

- (1) 「国連人権理事会普遍的定期審査(UPR)-カザフスタン第2回審査の検討」, (公財)世界人権問題研究センター研究第1部2015年度第3回共同研究会, 於: 京都市・世界人権問題研究センター会議室, 2015年6月28日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 環境法政策学会 理事 2003年6月~(現在)
- (2) 世界法学会 理事 1996年5月~(現在)
- (3) (公益社団法人)京都勤労者学園 顧問 2010年6月~(現在)

#### VII. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「アジアにおける国際的人権保障制度の実施と課題」科学研究費補助金 基盤 研究(B) 研究分担者(代表 安藤仁介世界人権問題研究センター所長), 平成26~28年度

奥本 京子(おくもと・きょうこ) [平和学・紛争転換学・非暴力介入論・平和ワークにおける芸術アプローチ・NGO論・ファシリテーション論・メディアーション論]

#### I. 著訳書

- (1) 「ソフトパワーとしての平和実践トレーニング: 東北アジアの信頼構築のために」, (豊下楯彦, 澤野義一, 魏栢良) 『北東アジアの平和構築: 緊張緩和と信頼構築のロードマップ』大阪経済法科大学出版部, (pp. 211-230), 2015年3月31日, 単著

#### II. 学術論文

- (1) 「アジアにおける平和構築実践の実際と可能性: ACTION Asia Leaders Review and Reflection Meetingに関する一考察」, 『トランセンド研究: 平和的手段による紛争の転換』第13巻第1号, pp. 1-5, 2015年6月, 単著
- (2) 「平和ワークにおける平和ワーカーの役割: 非暴力介入としてのファシリテーション」, 『平和文明会議 総括集 核廃絶と世界平和: どうすれば人類に平和がもたらされるか』京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 共同研究機関 文明哲学研究所, pp. 53-59, 2015年7月1日, 単著

- (3) “Peace and Conflict Studies: Methods of Facilitation to Transcend Dualism for Northeast Asia”, *Peace Studies in the XXI Century and Mongolia: International Research Conference and Proceedings*, pp. 18-21, 2015. 単著

### Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「平和教育プロジェクト委員会主催：平和教育公開ワークショップ(2014年11月8日開催)」pp. 8-9, 「平和教育プロジェクト委員会からのお知らせ」pp. 22-23, 『日本平和学会ニュースレター』第21巻第3号, 2015年4月25日, 単著
- (2) 「93. 平和を求める芸術家、文化人の活動にはどのようなものがあるでしょうか。’, 日本平和学会ホームページ, 『安全法制100の論点』(<http://www.psj.org/>安保法制100の論点/), 2015年9月, 単著
- (3) 論文翻訳「2015年8月 日本の平和と安全保障：10のポイント」(ヨハン・ガルトゥング), トランセンド研究会ホームページ (<http://www.transcendjapan.net/galtung2015aug>), 2015年9月6日, 共訳
- (4) 「ヒロシマをめぐる<コンフリクト>ワークショップ」pp. 12-13, 「平和教育プロジェクト委員会からのお知らせ」p. 27, 『日本平和学会ニュースレター』第21巻第4号, 2015年9月25日, 単著

### Ⅳ. 学会発表

- (1) “On Peace and Conflict in Northeast Asia”, Action Asia Leaders Review and Reflection Meeting, 於：タイ・バンコク, Convenient Grand Hotel, 開催日2015年2月4~9日
- (2) 「暴力を使わない紛争解決：平和紛争学の視点から」, 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学共同研究機関 文明哲学研究所 第8回平和文明会議, 会議テーマ：核廃絶と世界平和を達成するネットワークのあり方と文化に根ざした展開, 於：ウェスティン都ホテル京都東館4階総りの間, 開催日2015年2月26日(共同発表, ファシリテーション)
- (3) 「紛争解決と安全保障：ファシリテーションとメディエーションの役割とは何か」, 大阪女学院大学 第41回平和・人権研究会, 於：国際共生研究所研究室, 開催日2015年4月29日
- (4) “Weaving the Tapestry of Peace and Nonviolence: Peacebuilding and Efforts of Reconciliation in Northeast Asia and Beyond”, Japan Panel, The Flowing Tao of Expressive Arts: The 11th International Expressive Arts Therapy Association Conference, 於：Wu Kwai Sha Youth Village, Ma On Shan, Sha Tin, New Territories, Hong Kong, 開催日2015年10月8日(共同発表, ファシリテーション)
- (5) “Arts-Based Approach to Peacebuilding and Transforming Historical Conflicts”, The Flowing Tao of Expressive Arts: The 11th International Expressive Arts Therapy Association Conference, 於：Wu Kwai Sha Youth Village, Ma On Shan, Sha Tin, New Territories, Hong Kong, 開催日2015年10月9日
- (6) 「ファシリテーションとメディエーションといった手法による非暴力介入の可能性」, 日本平和学会, The Charhar Institute, 日中平和研究共同セミナー, 察哈尔(チャハル)ラウンドテーブル「日中関係の過去・現在・未来」, 於：北京市遼寧飯店3F VIP会議室, 開催日2015年10月31日

### Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「演劇で実感！リアルな日々の人間模様」, 箕面市立人権センター らいとびあ21, 於：箕面市立人権センター らいとびあ21, 2015年1月29日
- (2) “Japan and the Current Situations in Northeast Asia”, Action Asia Leaders Review and Reflection Meeting, 於：タイ・バンコク Convenient Grand Hotel, 2015年2月7日
- (3) 「紛争解決の様々な方法：平和構築トレーニングプログラムから」, 平和教育地球キャンペーン中四国支部, 於：広島市東区民文化センター中会議室, 2015年3月5日

- (4) 第二部 映画『いわきノート Fukushima Voice』, プレゼン「『いわきノート』と私たち」, モデレーター, 第三部 トークインカフェ, ファシリテーター, 大阪女学院大学・短期大学2014年度ウィルミナ公開講座『共生への対話』学生・市民対話シリーズ2, Vol. 2, 於: 大阪女学院大学, 2014年3月7日
- (5) 「紛争転換ワークショップ」, 東北芸術工科大学 芸術文化論講座, 於: 東北芸術工科大学, 2015年5月12日
- (6) “Arts Approaches to Community-Based Peacebuilding”, Mindanao Peacebuilding Institute Summer Training, 於: フィリピン・ミンダナオ・ダヴァオ, Mergrande, 2015年5月25～5月29日
- (7) 「秘伝・ストレスをためない話し合い術: アニメを使って対立解決の方法を学ぶ」, 箕面市立人権センター「らいとぴあ21」, 於: 箕面市立人権センター「らいとぴあ21」, 2015年6月13日
- (8) 「ヒロシマをめぐる<コンフリクト>」ワークショップ, 日本平和学会 春季大会 平和教育プロジェクト委員会, 於: アステールプラザ 2F 多目的スタジオ, 2015年7月19日
- (9) 「アートを用いた平和学: あなたの力で世界を変えよう!」, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2015年7月20日
- (10) 「今、わたしたちは何を?: 真の積極的平和を創る」, 神戸栄光教会 社会委員会, 於: 神戸栄光教会, 2015年8月2日
- (11) “Conflict and Peace Framework”, NARPI Summer Training, 於: モンゴル・ウランバートル近郊 Hotel Mongolica, 2015年8月9～13日
- (12) “Applied Theatre in Peacebuilding”, NARPI Summer Training, 於: モンゴル・ウランバートル近郊 Hotel Mongolica, 2015年8月17～21日
- (13) 「アートを用いた平和学: あなたの力で世界を変えよう!」, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2015年8月30日
- (14) “Introduction of Northeast Asia Regional Peacebuilding Institute”, Conference theme: “Strategic Peacebuilding in Asia”, Centre for Peace and Conflict Studies (CPCS), 於: Centre for Peace and Conflict Studies (CPCS), Siem Reap, Cambodia, 2015年9月14日
- (15) 「アニメを使った平和学: 紛争解決ワークショップ」, 兵庫県立西宮北高等学校, 於: 兵庫県立西宮北高等学校, 2015年9月16日
- (16) “The Meanings of Apology and Peacebuilding in Northeast Asian Context”, Sub Panel: Youth as Dominant Force to Maintain Peace, Nanjing International Cultural Exchange Association (南京市対外文化交流協会), Nanjing University (南京大学), 於: 南京大学仙林キャンパス外国語学院 3F Lecture Hall, the First Nanjing International Youth Festival (南京青年文化周, NIYF) (Sep. 25th-28th) and the Second Forum on World Youth Peace (Sep. 26th), UNESCO, Chinese Olympic Committee, All-China Youth Federation, China Charity Alliance, Nanjing Municipal Government (南京市), Nanjing Youth Festival Organizing Committee (2015南京青年文化周組委會), 2015年9月26日
- (17) 「アニメを使った平和学: 紛争解決ワークショップ」, 県立尼崎小田高等学校, 於: 県立尼崎小田高等学校, 2015年11月11日
- (18) 「キャリアプロフィール」, 神戸女学院大学文学部英文学科, 於: 神戸女学院大学EB館, 2015年11月12日
- (19) 「戦後70年に平和を想う～本当の積極的平和とは～」, 神戸YMCA, YMCAセミナー X憲法を知る集い, 平和を考えるワークショップ, 於: 日本基督教団神戸教会 階下講堂, 2015年11月13日
- (20) 「アートを用いた平和学: あなたの力で世界を変えよう!」, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2015年11月23日
- (21) 平和教育ワークショップ「平和でゆんたく～沖縄の平和を創る取り組みから 沖縄平和学習

マップを作ろう〜」, 日本平和学会 平和教育プロジェクト委員会, 於: 琉球大学 111教室,  
2015年11月28日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国際トランセンド 認証トレーナー 2000年11月26日～現在に至る
- (2) 同上 東北アジア地域コンビーナー 2006年～現在に至る
- (3) トランセンド(平和的手段による紛争転換)研究会 副会長 2013年1月～現在に至る
- (4) 同上 平和と芸術委員会委員長 2010年12月～現在に至る
- (5) 同上 地域委員会 NARPIプロジェクト・リーダー 2010年12月～現在に至る
- (6) 非暴力平和隊・日本 理事 2003年1月31日～現在に至る
- (7) 日本平和学会 平和と芸術分科会 副責任者 2012年2月～現在に至る
- (8) 財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか) 企画運営委員(展示専門部会) 2007年4月1日～2015年4月30日
- (9) NARPI(Northeast Asia Peace Research Institute) 運営委員会委員 2009年～, 委員長 2014年～現在に至る
- (10) ACTION Asia Leader 2010年11月～現在に至る
- (11) 平和教育アニメーション・プロジェクト 呼びかけ人 2011年～現在に至る
- (12) 日本平和学会 第21期理事 2014年1月～2015年12月
- (13) 同上 第21期平和教育プロジェクト委員会委員長 2014年1月～2015年12月
- (14) 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 共同研究機関「文明哲学研究所」 客員教授 2013年4月～現在に至る
- (15) Peace News Japan 理事 2013年6月～現在に至る
- (16) IPRA, Art and Peace Commission, co-convener 2014年8月～現在に至る
- (17) 神戸家庭裁判所(本庁) 家事調停委員 2014年10月1日～現在に至る
- (18) 大阪女学院大学国際共生研究所(RIICC) プロジェクト3「ファシリテーション・メディアエーション研究」設立者・代表 2014年10月8日～現在に至る
- (19) The Charhar Institute(察哈尔学会) 高級研究員 2015年12月～現在に至る

#### VII. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「人間関係のケア学としての紛争解決学の日本における確率のための基盤研究」 科学研究費基盤研究(C) 平成24～26年
- (2) 「原発災害後の人間関係の葛藤への紛争解決学による変容支援研究」 科学研究費基盤研究(C) 平成27～29年

大塚 朝美(おおつか・ともみ) [英語音声教育, TESOL]

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 書籍紹介[『感じのよい英語 感じのよい日本語』] 大阪女学院大学国際共生研究所通信 第9号, 2015年10月31日

#### IV. 学会発表

- (1) 「筆記、実技、意識調査から検証する音声学習項目の定着: 語強勢とイントネーションについて」, 外国語教育メディア学会(LET) 第55回全国研究大会, 於: 千里ライフサイエンスセンター, 2015年8月6日(共同)

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Developing Japanese EFL learners’ autonomy and motivation through pronunciation practice in an English teacher-training course.” (Poster presentation), American Association for Applied Linguistics (AAAL), Toronto, Canada, March 22, 2015

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 外国語教育メディア学会(LET) 運営委員 2012年4月～現在

## VII. 科学研究費補助金等の公的研究補助を受けた研究

- (1) 「ルーブリックとポートフォリオを利用した英語教員養成プログラムの研究」文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究分担者 2012年4月～2015年3月

朴 賢淑(パク・ヒヨンス)〔キリスト教学, 東北アジアとキリスト教, 宣教学〕

## V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「矢内原忠雄と日韓無教会交流についての一考察-1930～40年代を中心に」, 大阪女学院大学・短期大学学内研究会, 2015年2月18日

関根 聡(せきね・あきら)〔社会学, 家族社会学, 福祉社会学, ジェンダー論〕

## II. 学術論文

- (1) 「高齢者の家族介護および人的資源の現状と将来」, 『老年精神医学雑誌26巻2号』, 2015年2月20日, 単著
- (2) 「男性大学生における性役割意識」, 『吉備国際大学大学院社会学研究科論叢16号』, 2015年3月1日, 単著

## V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 八尾市人権ふれあい部人権政策課主催「男女混合名簿実施に向けて、職員自身が考えないといけないこととは」教職員研修会講師(講演), 八尾市立八尾中学校, 2015年8月6日
- (2) 姫路市交流振興局人権啓発センター主催「高齢者介護をめぐる家族危機」講師(講演), 姫路市立図書館網干分館, 2015年5月11日
- (3) 八尾市人権ふれあい部人権政策課主催「次世代を担う子どもたちのための男女共同参画教育の重要性」教職員研修会講師(講演), 八尾市立亀井中学校, 2015年3月6日

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 大阪市男女共同参画審議会 会長 2013年8月～2015年8月 (委員2009年8月～)
- (2) 八尾市男女共同参画審議会 副会長 2010年9月～2016年11月
- (3) 阪南市男女共同参画推進審議会 副会長 2014年7月～2016年3月
- (4) 高槻市男女共同参画審議会 委員 2001年7月～2015年11月
- (5) 大阪市「男性への意識啓発事業業務委託選定会議」委員 (2015年9月)

Swenson, Tamara (スウェンソン・タマラ)〔Communication, Media Studies, English Education〕

## I. 著訳書

- (1) *Becoming a peacemaker: A Reader*. (2015, February). Osaka Jogakuin Press. ebook. (Swenson, T., Johnston, S., Bramley, D., & Cornwell, S., Eds.)
- (2) *Ethics, Values & Culture: A Reader*. (2015, February). Osaka Jogakuin Press. ebook. (Johnston, S., Swenson, T., Cornwell, S., Eds.)
- (3) *Human Rights: A Reader 2015*. (2015, July), Osaka Jogakuin Press. ebook. (Swenson, T., Editor, with Tojo, K., Cline, W., Bramley, D., Cornwell, S., & Fu, A.)
- (4) *Sustainable futures: A reader 2015*. (2015, July), Osaka Jogakuin Press. ebook. (Swenson, T., Editor, with Cline, W., Johnston, S., Tojo, K., Fu, A., Cornwell, S., & Bramley, D.,
- (5) *Read about it / talk about it: Open Campus*. (2015, June). Osaka Jogakuin Press. ebook. (Swenson, T.)

## III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) Review: The making of monolingual Japan: Language ideology and Japanese modernity. Patrick

Heinrich, Bristol, U.K.: Multilingual Matters, 2012. *RIICC Journal: Osaka Jogakuin University Kokusai Kyosei Kenkyushotsushin*, 9, 4. (October, 2015)

**Ⅳ. 学会発表**

- (1) To Tablet or Not: Adoption of Cutting-Edge Innovation in EFL. TESOL Singapore, National Institute for Education, Singapore, Dec. 3. (Teaman, B. & Swenson, T.)

**Ⅵ. 学会および公的な機関の委員**

- (1) Japan Association for Language Teaching, JALT Journal, Editorial Advisory Board, January 1, 2015 to December 31, 2015
- (2) Japan Association for Language Teaching, JALT Conference Proceedings, Editorial Advisory Board, January 1, 2015 to May 1, 2015

**Teaman, Brian**(ティーマン・ブライアン) [Phonetics, Computer Assisted Language Learning]

**Ⅳ. 学会発表**

- (1) “Essentials of Haptic Pronunciation Teaching,” TESOL Convention, Toronto, Canada, March 25-28, 2015.
- (2) “To Tablet or Not: Adoption of Cutting-Edge Innovation in EFL,” TESOL International Conference, Singapore, Dec. 3-5, 2015.